

# 会 報 《第447号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会



令和5年3月1日

## 目 次

### I 第508回月例会

「都心・三宮再整備について」

神戸市都市局都心再整備本部長 中原 信 氏 . . . 2頁～5頁

### II 施設紹介

「兵庫県立美術館」

兵庫県立美術館 館長補佐兼課長 飯尾 由貴子 氏 . . . 6頁～7頁

III お知らせ 行事予定、編集後記 . . . 8頁

IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度 . . . 9頁



## I 第508回月例会

### 「都心・三宮再整備について」

神戸市都市局都心再整備本部長 中原 信 氏



#### 【会長挨拶】



会員の皆さまこんにちは。

立春が過ぎたといえ、まだまだ寒い日が続きますが、本日は兵庫県建築会2月度月例会にご出席して頂き有難うございます。

新型コロナウイルスは感染拡大から4年目に入りましたが、ようやく大きな転換点を迎えます。政府は5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げを決定しました。建築会もGW明けからは、コロナ感染に注意を払いながら新たな日常を楽しみたいと思います。

1月12日には当会創立75周年記念講演会と新春会員交流会を無事に開催することが出来ました。講演をして頂いた河田京都大学名誉教授様を始め、来賓として兵庫県服部副知事様、神戸市小川副局長様他、県、市幹部職員様並びに関係団体を含め、多くの会員の皆さまにご出席頂きました。3年ぶりに建築会らしく楽しい会員交流が出来ましたことに心から感謝を申し上げます。

さて、昨年6月月例会では、西神中央駅前に建つ西神中央ホールと図書館が併設される「なでしこ芸術文化センター」の視察研修を行いました。神戸市職員様による概要説明、設計者と施工者からの建物の特徴などを説明して頂いた後に、完成前の施設見学を行うことが出来ました。また、西神中央駅以外の市内主要ターミナル駅周辺でも活発に再整備事業が進められ、駅前空間のリノベーションが動き始めているとお聞きしました。

ご承知の通り、兵庫県の中心地である神戸市の

強みは、港、空港、そして、東海道と山陽道とをつなぐ陸上交通の要の地でもあります。また、六甲山系の優れた自然景観を有する都市ですが28年前の阪神・淡路大震災により甚大なる被害を受けました。

この間、京都、大阪、姫路他周辺大都市では駅前が整備されるのを見ると忸怩たる思いでした。しかし、三宮周辺でも数年前から整備が始まり、神戸三宮阪急ビル、中央区役所・文化センター、磯上体育館がオープンしました。いよいよ再整備が本格化する都心三宮の将来の姿を学ぶため、本日は、神戸市都市局都心再整備本部 中原 信本部長様をお招きして「都心・三宮再整備」についてご講演して頂きます。その再整備のテーマ、現在の進捗状況、課題などについて解説して頂ければ幸いです。

当会会員は、会の名の通り建築業、関連産業の一員ですが、官民間問わず建物が計画されることは大変うれしいことですが箱作りが目的ではないと考えています。神戸市の活力・魅力UPなることで神戸に新たな起業家が集まり、地域経済に良き影響を与えることを期待しています。そして、当会は神戸市新たな都市像を描く協力を惜しみなく行いたいと考えていますので宜しくご指導お願い致します。



(会場風景)

## 【講演内容】



神戸市の中原です、本日は貴重な機会をいただきありがとうございます。

最初に、自己紹介をさせていただきます。神戸大学で建築の勉強をいたしまして、神戸市に入りましてからは色々な仕事に携わりましたが、一番の思い出としましては、やはり阪神・淡路大震災のときの復興事業でした。当時は六甲道の南の再開発事業に携わりました。そこで6年間仕事を行いました。

もう一つ似たような仕事として、中央卸売市場の建て替え事業などにも携わりました。その他、住宅関係や建築指導的な仕事にも就き、今の仕事になりまして丸7年になります。私が神戸市の職員になって一番長い職場になりました。

神戸三宮の特徴は、言うまでもなく海と山が近く、市街地の幅が狭いということです。東西に長く、南北に短いので、結果、駅とまちが近いということになります。このような特徴ある神戸市の都心をどのようなものしていくか、何を目指していくかということ、人が居心地の良い、今までにないものを作りたいということです。

また、今日お越しの皆様は阪神・淡路大震災を経験されていると思いますが、28年が経過しますと市役所の6割を超える職員はこの震災を経験しておりません。近時では東日本大震災がありましたが、神戸市に勤める者としては、先の大震災の話があって、今の三宮の仕事があると思っています。

神戸市の財政状況ですが、2007年ぐらいからだんだん良くなってきて、現在では全国の政令市の平均よりも良い状況になっています。

阪神・淡路大震災の時は、一般会計の借金が8千億円ぐらいあったようですが、震災後3年間で1兆6千億円まで膨れ上がりました。当時市政100周年でしたが、100年で借金した額をたった

3年で借金してしまったことになりました。そのため、神戸市は財政再建団体になるのではないかと当時心配していました。

東日本大震災の場合は、復興税の創設など被災地に対する財政的な対応がなされましたが、阪神・淡路大震災の時はそのような仕組みはなく、国からの補助金という形での対応となりました。しかし、補助金の場合100%の補助ということはなく、被災地の負担も大きな額になりました。さらに、補助金メニューにないものは地元負担でした。そのため借金が膨れ上がってしまったわけです。

神戸市では借金の返済のため、その間の三宮再整備など色々な事業に投資ができませんでした。三宮の復興は民間でお願いするしかなかったわけです。



阪神・淡路大震災直後の三宮

人口の面から見ると、昔は東京、大阪の次が神戸だったのですが、現在では川崎について第7位です。神戸、京都はややじり貧状態になってしまいました。

このような状況に鑑みて、都市の魅力を高めるために三宮の再整備をしようということになったわけです。

久元市長も初当選のときのインタビューで、一番に何をしたいかという質問に対して、「三宮をなんとかしたい」と答えられたと聞いています。

このようなことから、どのように進めていくかということ色々の方々に聞きながらスタートしたのが2015年からでした。

都心は神戸から新神戸までのおむすび状という整理をし、その中でも特に三宮周辺の半径約500メートルに集中的に再整備を行うことにしました。他都市の状況を見てみると駅前の魅力と人口の動態は無関係ではないと思います。

現在の三宮では、阪急の新しいビルがやっと1つ完成しています。それ以外は震災の時とあまり変わっていません。旧そごう、サンセンタープラザビルはそのままです。また、三宮の中心である三宮交差点周辺は、道路の幅が広いので車が大きなウェイトを占めているような印象を与えているのではないかと思います。

阪急のビルですが、上がホテル「レムプラス」、その下がオフィス、低層部が商業施設ですが、あえて古い駅ビルのイメージを踏襲したということを知っています。震災後いち早く、低層の小さなビルができていましたが、ここにきて大きく舵を切られたのだと思います。

このビルは、2021年4月26日のオープンですが、その日は3回目の緊急事態宣言が発出された翌日でした。そのため、オープンした途端に飲食店は営業できない状況になり、大変辛いところがありました。しかし、客室が200室あまりのホテルは好調で、2022年度の稼働率は平均で80%を超えていると聞いていますし、オフィスも店舗もほぼ満室だそうです。コロナ禍のもとで非常に良い業績だと思います。地下鉄山手線からの乗り換え動線が良くなったことなどもご協力いただいている点です。



神戸三宮阪急ビル

そして大きなポイントの1つが、建物の更新と公共空間の関係です。この場合の公共空間とは道

路のことですが、建物とセットでデザインし、一体的に活用することが、人が居心地良く、賑わいに繋がるものと考えています。

従前のサンキタ通りは一般車も進入できましたが、今では荷捌き車両だけで、一般車は入れません。デザインも歩道と車道を同じようなものにして、段差も基本的になくするようにしています。

国が「歩行者利便増進道路」(ほこみち)制度を創設したこともあり、ヨーロッパではよく見かけますが、沿道の店舗が歩道に滲み出している感じになっています。一説によると、日本でここまで長く連続して歩道で飲食できる空間はないそうです。

そのため最近ではまちの賑わいが増しているようです。これまでサンキタは、どちらかというと、おじさんのまちだったのですが、今は若い人たちが増え、さらに女性の比率も高くなっています。

阪急ビル北側の広場はコンペを行い、2021年10月に賑わいの場として一新されました。



サンキタ通り

新たなバスターミナルが入る再開発ビルは現在既存建物を解体中ですが、ビルの設計には坂茂氏に参画いただいております、デベロッパーとして三菱地所、三菱倉庫、TC 神鋼不動産に参加いただいております。

ビルには、バスターミナル、オフィス、ホテル、商業施設ができるほか図書館、ホールなども計画されています。

図書館は元々勤労会館にあったもので、面積はおよそ3倍くらいになります。また、大倉山の文化ホールも移設し、1,800席の規模になる予定です。バスターミナルの上に大ホールが入る構造になっているのも前例のないものだと思います。

1階がバスターミナルになりますが、路線バスではなく、中・長距離バスのターミナルになります。三宮では現在、1日約1,700便の中・長距離バスが発着しており、東京の新宿西口と同じぐら

い多くのバス発着しています。現在乗降場が分散しているのを新しいバスターミナルに集約し、交通結節機能等を高めることを目指しています。

ホテルはブライダル業界最大手の株式会社テイクアンドギヴ・ニーズに参入いただきました。部屋面積が約 35 平方メートルのものが標準で、最上階にインフィニティプールなども備えた海外の富裕層向けの高級ホテルとなる予定です。



新たなバスターミナルが入る再開発ビル

JRの新駅ビルですが、中には商業施設、オフィス、ホテルが入る予定です。商業施設は低層部に入りますが、商業的に立地条件の良い低層部に公共動線を確保し、まちに向かって開こうとしている点がこのビルの特徴です。JRの中央口からまちの中心方面にスムーズに移動できるようになります。さらに、ポートライナーのホーム西側に新しい改札ができ、阪急、阪神などの各駅との連絡も十分に考慮しているので、乗り換えや移動がしやすい公共空間とセットになったビルとして利便性の高いものとなります。



JR三ノ宮新駅ビル

バスターミナルと駅とがしっかりと繋がるように歩行者デッキを設置する計画です。現在、その橋脚を建てるために地下埋設物の移設にも取り組まっています。

中央幹線道路の車線も元々10車線でしたが、6車線まで減らして、その減った分を広場的な空間に転換し、公共空間との融合ができるようなデザインにして、利便性も賑わいもあるという発想で考えています。

三宮クロススクエアのコンセプトとして、人と公共交通優先のというものを考えています。全く車道をなくすわけではありませんが、歩道や広場などの歩行者のための空間づくりを進めていきたいと考えています。

神戸市役所本庁舎2号館の再整備は古い建物の解体は終了しており、1号館のためのエネルギーセンターを現在建設中です。

オリックス不動産が代表企業となって、ホテル、オフィス、商業施設、そして神戸市の庁舎ができます。

ホテルは、ラグジュアリークラスの高級ホテルですが、これまでお話ししてきたホテルとはターゲット、コンセプトが違うものになる予定です。

オフィスもこれまで三宮になかったグレードの高いものになる予定です。

低層部は庁舎が入ります。かつての本庁舎2号館、3号館にいた部署や近隣の民間ビルなどに入っている部署が入居する予定です。またカフェなども入る予定です。さらに地下道で市役所に行けることとなりますが、この動線をもう少し明るいものにできたらとも思っています。

ラグジュアリーホテルと市庁舎が一つのビルに入居しているのは、日本でも例がないものではないかと思えます。



市役所本庁舎2号館再整備

昨年3月には東遊園地に安藤忠雄氏からの寄付により誕生した「こどもの本の森」が、昨年7月には新しい中央区役所と中央区文化センターが、同じく磯上公園内には体育館が完成しています。

ウォーターフロントでは、アトアがオープンし、フェリシモの本社も開業しています。近隣マンションも今春から入居開始となります。

さらに万博直前の完成になりますが、第2突堤にアリーナを作ることが決定しており、バスケットボールプロリーグの西宮ストークスの本拠地になる予定です。



大規模多目的アリーナ

駅前中心の再整備は我々の所属する都市局で担当し、ウォーターフロントは港湾局の担当になりますが、両者が上手に有機的な連携をしながら事業を進めていく予定です。

例えば、駅とウォーターフロントを結び、回遊性を高める仕組みの1つとして、連節バス Port Loop が両地域の間を走行しています。現在は新神戸まで延伸しており、来年度には神戸駅まで伸びる予定で、回遊性のさらなる向上が期待できます。

最後に神戸空港ですが、2025年に国際チャーター便が、2030年前後には国際線定期便が就航する予定です。

今まで神戸はインバウンドに弱いという側面を抱えていましたが、今後海外から直接神戸に来られることになるわけですから、三宮を経由して移動するとか、市内に滞在するとか、いろいろな可能性への期待も高まっています。

国際定期便の就航が予定されている2030年度前には、バスターミナルI期が2027年度、2号館再整備が2028年度、JRビルが2029年度に完成する予定です。これらは単にビル等が完成するだけでなく、ホテル、オフィスの整備及び新しい公共空間ができることにより、新しいまちの姿が明確に現れ、空港の国際化と相まって、非常に新たな希望が湧いてくる地域になるのではないのでしょうか。

2030年頃には、今とは全く違う三宮になっていると思います。今後とも応援のほどよろしくお願ひします。

## 【お礼 川端副会長】

本日は大変ありがとうございました。

私たちはともすれば三宮再整備について断片的な情報しか持ち合わせていませんでしたが、本日最新の情報を踏まえた総合的なお話を聞かせて頂き、大変ありがとうございました。

今後神戸空港の国際化もごございますので、陸海空の交通拠点として、芸術文化の拠点として、神戸市の三宮再整備がさらに発展することを期待しております。

本日はどうもありがとうございました。



(会場風景)

## II 施設紹介

### 『兵庫県立美術館』

館長補佐兼課長 飯尾由貴子 氏

#### 《開館 20 年》

兵庫県立美術館は、昨年 2022 年（令和 4）4 月で開館 20 年を迎えました。1995 年（平成 7）の阪神淡路大震災からの復興をめざし、神戸東部臨海地区に整備された神戸東新都市（HAT 神戸）にある当館は、1999 年（平成 11）3 月に工事着工、2001 年（平成 13）9 月に竣工し約半年のからし期間を経て翌年 4 月 6 日に開館しました。

県立美術館の前身は、兵庫県立近代美術館です。1970 年（昭和 45）に兵庫県政 100 周年記念事業として神戸の歴史的文教地区であった灘区原田通（王子公園）に開館、神奈川県立近代美術館に次ぐ日本で 2 番目の公立の「近代美術館」として近現代美術を対象とするさまざまな展覧会を開催するとともに、兵庫県ゆかりの美術を中心に収集を行ってきました。

新美術館建設へ向けての基本構想検討委員会は既に震災前の 1994 年（平成 6）に立ち上げられていましたが、震災により近代美術館の建物が大きく被災したこともあり、その後その計画の目的と方針が大きく転回、「震災からの文化の復興のシンボル」という理念のもと、建設が進められることになりました。



(対岸から望む美術館全景)

©Jiro Fujiwara

#### 《世界的な建築家安藤忠雄氏による建築》

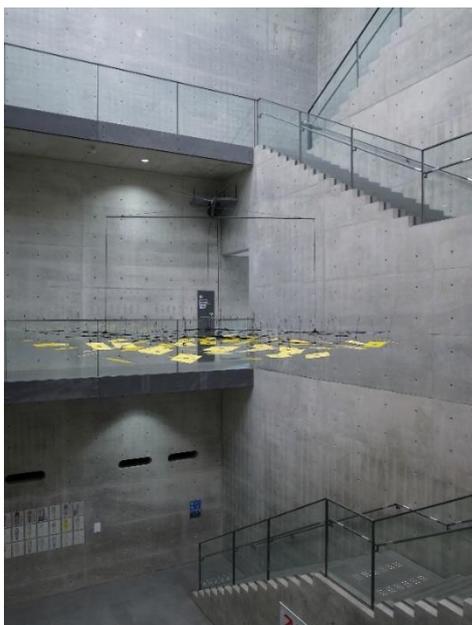
県立美術館の建物は、国際的に活躍されている安藤忠雄氏の設計によるものです。安藤忠雄氏については改めてご紹介するまでもありませんが、近年ではパリの中心部に開館したピノー財団のコレクションを展示する現代美術館「ブルス・ドゥ・コムルス (Bourse de Commerce)」が注目を集めました。

県立美術館の設計は 1997 年（平成 9）、プロポーザル・コンペ方式によって行われ、安藤氏のプランが採用されました。安藤氏は美術館の建築コンペに参加する前、美術館の西に隣接する区域に「水際広場」という神戸市との計画を既に進めておられました。安藤氏の美術館プランが採用されたことにより、神戸市と兵庫県という異なる事業主体ではあるものの、偶然にもこの区域全体がトータルにデザインされることになったのです。

「水際広場」は、建設当時全国の政令指定都市から贈られたクスノキが今や青々と育ち、海沿いの解放的な雰囲気と相俟って、休日には家族連れやカップルが訪れる快適な公園となっています。

県立美術館はこの「水際広場」の開放的なエリアと一体となり、臨海地域東西 500 メートルにわたる「水際のアート空間」の一翼を担っています。

建物は、というと地下 1 階地上 4 階、安藤忠雄氏の建築特有の「美しい肌」のコンクリートに加え、震災前の阪神間を象徴するという御影石と震災後の未来の象徴としてのガラスがふんだんに用いられています。コンクリートと石とガラスによって構成された巨大な建物は一見近寄り難いようにみえますが、そこに海沿いの明るい陽光が加わると季節によって時刻によって微妙かつ絶妙な陰影が生まれ、外部も内部もその光の織りなす変化に富んだ表情が出現します。このようなことを言うとならぬようですが、まさにどこから撮っても「インスタ映え」する建物なのです。



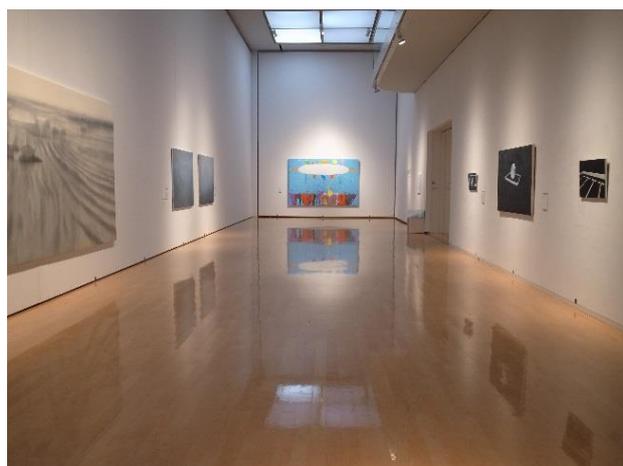
新宮晋《星の海》(2016年)が展示された吹き抜けの階段ホール

## 《主な施設とさまざまな事業活動》

### 1) 展示室

県立美術館は様々な芸術の融合をその活動目的のひとつに掲げています。が、やはり美術館の名を冠する以上、やはり事業の主体は美術展および作品の収集にあります。当館では、収蔵品を展示する常設展（コレクション展）と他館から作品を借用して開催する特別展を並行して開催しており、前者は1階、2階に計8室ある常設展示室、後者は3階に計3室ある企画展示室を使用しています。常設展示室は計2500㎡超、企画展示室計1600㎡超の広さがあり、全国の美術館の中でも最大規模です。天井高7.2mの大空間と堅牢な壁面をもつ展示室は、作品の展示効果をより高めています。

美術品の展示に重要な役割を果たすのが照明です。当館の照明デザインは県立近代美術館のそれを継承したものです。現在は美術品保護のため使われることはありませんが、近代美術館では展示室の天井にトップライトを設け、屋上の扉の開閉によって太陽光を入れられる仕組みになっていました。太陽光を入れない場合でも、あたかもトップライトであるかのように天井全面に蛍光灯が設置されていたのですが、この意匠が当館の天井にも採用されているのです。ご来館の際には、ぜひ天井を見上げてみてください。



常設展示室1（2022年コレクション展Ⅰ会場写真）

### 2) ギャラリー

美術館は3つの棟から成り、東側の1棟はギャラリー棟とあって、1階にはワークショップや美術講座、アーティスト・イン・レジデンスにも対応できる2つのアトリエ、講演会や映画会を行う250人収容のミュージアム・ホール、3階には約800㎡の大きな展示スペース（ギャラリー）を擁しています。ギャラリーは4分割でき、小さなスペースとしても、まるごと全体でも美術展用スペースとして貸し出すことができます。こちらも天井高7.2mの大空間であり、やはり作品が「映える」ので1年を通して申し込みが絶えないスペースです。

### 3) 美術情報センター

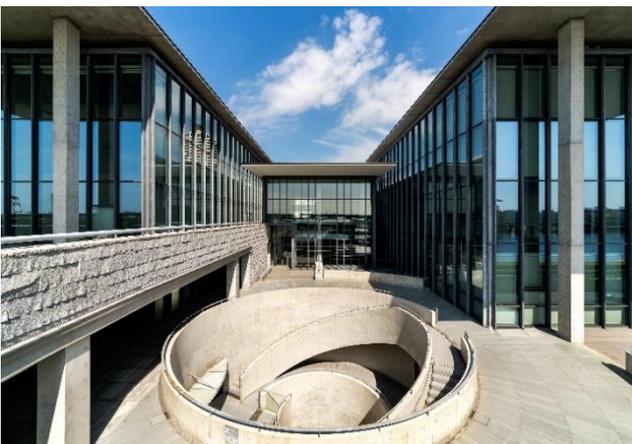
あまり知られていないかもしれませんが、必見の場所が「美術情報センター」です。ここには約12万冊を超える蔵書（令和4年12月末）があり、そのほとんどが美術関係書籍、資料です。我々学芸員もいつもお世話になっており、美術雑誌の貴重なバックナンバーや展覧会図録から大型の美術書まで充実しています。貸出はしていませんが、閲覧スペースもありますので是非覗いてみてください。司書さんもいてレファレンスに応じています。



美術情報センター

#### 4) Ando Gallery (安藤ギャラリー)

2019年(令和元)、美術館にもうひとつの「名所」ができました。安藤忠雄氏の建築の仕事を紹介する第二展示棟=Ando Galleryです。3つ並ぶ棟のうち、東側と中央の棟との間の空間に作られた建物で、3層構造、南面ガラス張りの開放的なギャラリーです。建設前は(当然ながら)外の空間でしたが、屋外に設けられていた壁と階段が「内部空間化」された建物です。ここには初期から現在までの安藤氏の建築作品の模型や設計図、映像も展示され、その仕事の全貌をみることができます。上述のブルス・ドウ・コムルスの模型など最新作も展示されています。



Ando Gallery

©Natori Kazuo

#### 《建築の真価・進化・深化》

安藤忠雄氏は著書の中で「建築は完成したときが終わりではない。そこからいかに人々に使われ、場所に根付いているか—そこからの成長のプロセスをもって、真価を問われるべきものだ。」※と述べておられます。県立美術館はこの20年、様々な事業を行ってきました。年間平均5回の特別展、3回の常設展、現代作家を紹介する短期間の展覧会、それに関連する講演会やレクチャー、ワークショップ、学校団体や子ども向けの様々な鑑賞プログラム、作品の収集と保管、図書資料の収集、復興からのシンボルとして新たに設けられた作品の保存修復事業、ギャラリーでの様々な催し、映画、コンサート、ボランティア活動、友の会……。2016年(平成28)には入館者数が1000万人を超えました。コロナ禍による臨時休館を余儀なくされた時期もありましたが現在は事業を再開、活動を続けています。この建物を舞台に美術館はさらなる進化と深化を遂げるべく、美術を中心としたさまざまな企画を準備しています。皆さまのご来館をお待ちしています！



屋外オブジェ 青りんご

©Natori Kazuo

※安藤忠雄『TADAO ANDO | HYOGO』アトリエ安藤忠雄発行、2019年、p.36。

### Ⅲ お知らせ

#### ◎行事予定

##### 1 月例会

日時：令和5年3月9日（木）  
12：00～14：00  
場所：神戸三宮東急 REI ホテル  
内容：「With コロナの生活と心の健康」  
講師：兵庫県立大学 名誉教授  
近澤範子 氏

##### 2 理事会（令和4年度第5回）

日時：令和5年3月9日（木）  
14：00～15：00  
場所：神戸三宮東急 REI ホテル  
議題：

- ・令和5年度事業計画
- ・令和5年度収支予算
- ・令和5年度役員選任
- ・その他

##### 3 監事監査

日時：令和5年4月10日（月）  
13：00～14：00  
場所：兵庫県建築会 事務局  
内容：令和4年度財務関係監査

##### 4 理事会（令和5年度第1回）

日時：令和5年4月27日（木）  
13：00～15：00  
場所：神戸三宮東急 REI ホテル  
議題：

- ・令和4年度決算報告
- ・令和5年度役員選任
- ・その他

##### 5 令和5年度総会及び懇親会

日時：令和5年5月11日（木）  
総会 17：00～18：00  
懇親会 18：00～20：00  
場所：神戸三宮東急 REI ホテル

#### ◎編集後記

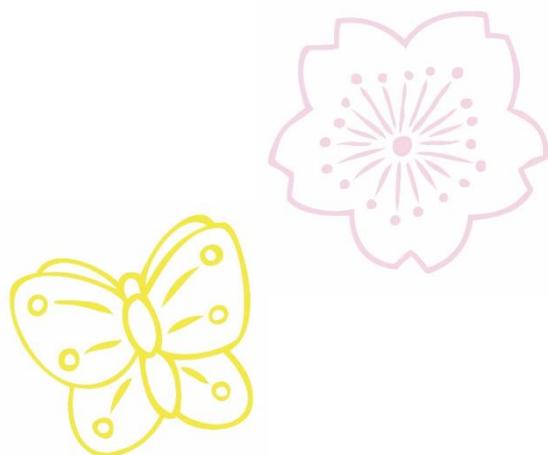
新型コロナ感染症への対応もマスク着用については3月8日、感染症類別も5月8日からは現在の2類からインフルエンザと同じ5類へと移行することが決まりました。

ここまで私たちを巡る社会、経済、教育、文化など多岐にわたって影響を与えてきたコロナ禍も「With コロナ」へと移行することになりました。

多分、私たちの生活はコロナ以前に戻ることはなく、新しい時代に直面することになりそうです。

このような難しい状況のなかで、会員の皆様のご指導、ご意見をいただきながら会の運営に努めてまいりますので、よろしくお祈りします。

事務局 : 吉本義幸、石井滝実子  
電話 : 078-996-2851  
FAX : 078-996-2852  
Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)



安心をカタチに  
**兵庫県住宅再建 共済制度**  
**フェニックス共済**



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」



今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に

住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 <b>5,000円</b> で 再建、補修時等に 最大 <b>600万円</b> 給付! ※半壊(損害割合 20%)以上	年額 <b>500円</b> で 補修時等に <b>25万円</b> 給付! ※損害割合10%以上20%未満	単独加入 年額 <b>1,500円</b> で 住宅とセット加入の場合 年額 <b>1,000円</b> で 購入・修復時に 最大 <b>50万円</b> 給付! ※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)  
 FAX: **078-362-4082**

E-mail [jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp](mailto:jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp)

フェニックス共済 検索 加入申込書はダウンロードできます



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!